

北郷小中学校 学びの様子

生徒会の取組発表



1 生徒会がプレゼンテーションを作成。生徒は、校内放送と合わせ教室にしながら取組発表に参加。



2 生徒は、興味のある項目を選択。

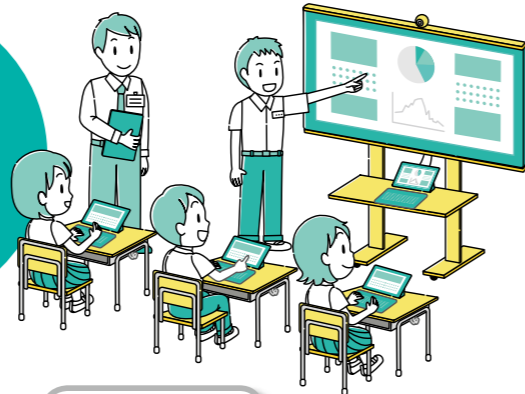


3 選択した項目の資料や動画を閲覧。



4 発表に対する意見を送信後は、生徒同士の意見の共有が可能。

生徒会活動にも活用しています



生徒会選挙



1 コロナ対策のため、リモートによる立候補者演説会。



2 投票したい人を選択、送信。即時集計も可能。

子どもたちが未来をたくましく生き抜く力を育てます



Interview 先生の声

北郷小中学校 森永 浩二 教諭

1人1台のタブレット端末配備により、小テストなどが簡単にシャッフルして出題可能になりました。それを繰り返し解くことで、暗記ではなく内容の理解へとつながっています。

また、紙への印刷が不要となり手間も省け、資源の削減にも役立っています。教師が作成した問題は生徒のタブレット内に保存されています。それにより、自習時間などは生徒自身が興味のある問題を選んで取り組むことができるため、学習への自主性や積極性が見られるようになりました。

学ぶ楽しさを大切にしています



教科書とタブレット端末を併用しながら授業を進めていきます。



大型モニターに映し出された資料は、タブレット端末でも見ることができます。



記入した答案用紙を撮影して先生に送信します。



画面への書き込みや好きな色をつけることで、生徒の興味と関心を高めます。



Interview 子どもの声

7年生 村崎 陸永さん

先生がインターネットなどで調べた資料や写真を、大型モニターと自分のタブレットで見ることができるので、とてもわかりやすいです。教科書以外の知識も得ることができるので、授業が楽しく意欲も沸いてきます。タブレットを使うようになって、自分から積極的に学習に取り組めるようになりました。

紙に直接触れるプリントの配布などの回数も減り、コロナ禍でも安心です。



Interview 子どもの声

8年生 鈴木 光葵さん

タブレットに送られてくる先生が作った小テストや資料は、とても見やすくわかりやすいです。今までとの大きな違いは、調べる時間です。教科書は1冊1冊、1枚ずつめくらなくてはならないので時間がかかりますが、タブレットだと、関連する資料をつなげて保存ができるため、一目でわかりやすく、時間短縮になって、学習もしやすいです。また自分でインターネットを使って調べたりすることもあります。



北郷小中学校へ行ってきました
児童生徒が「わかった」「できた」「おもしろい」と思えるような授業づくりを進めています！